

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 11 月 17 日 (2005.11.17)

【公表番号】特表 2004-514702(P2004-514702A)

【公表日】平成 16 年 5 月 20 日 (2004.5.20)

【年通号数】公開・登録公報 2004-019

【出願番号】特願 2002-545755(P2002-545755)

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 9/00

A 6 1 K 31/573

A 6 1 K 38/00

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/38

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 41/00

【F I】

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 9/00

A 6 1 K 31/573

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/38

A 6 1 P 37/06

A 6 1 P 41/00

A 6 1 K 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 4 月 16 日 (2004.4.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 眼における移植手順を受けたまたは受けている個体の眼に放出された場合に眼の移植拒絶を低減または予防するのに有効である薬剤の粒子、および生体浸食性ポリマーを含み、放出モジュレーターは含まない、眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 2】 眼における移植手順を受けたまたは受けている個体の眼に移植された場合、眼の移植拒絶を低減または予防するのに有効な量で少なくとも 3 週間にわたって、薬物を放出するのに有効である、請求項 1 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 3】 前記薬物が、生体浸食性ポリマー中に粒子として存在する、請求項 1 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 4】 前記薬物が免疫抑制剤である、請求項 1 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 5】 前記免疫抑制剤が、デキサメタゾン、シクロスポリン A、アザチオプリン、プレキナル、グスペリムス、6 - メルカプトプリン、ミゾリピン、ラパマイシン、タクロリムス (FK - 506)、デノブテリン、エダトレキサート、メトトレキサート、ピリトレキシム、プテロプテリン、Tomudex (登録商標)、トリメトレキサート、クラドリピン、フルダラビン、チアミプリン、チアグアニン、アンシタピン、アザシチジン、6

- アザウリジン、カルモフル、シタラピン、ドキシフルリジン、エミテフル、エノシタピン、フロクスウリジン、フルオロウラシル、ゲムシタピン、エガフル、フルオシノロン、トリアモシノロン、アネコルターベアセテート、フルオロメトロン、メドリゾン、およびプレドニゾロンからなる群より選択される、請求項 4 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 6】 前記免疫抑制剤がデキサメタゾンである、請求項 4 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 7】 前記免疫抑制剤がシクロスポリン A である、請求項 4 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 8】 眼における移植手順を受けたまたは受けている個体の眼の前眼房に移植された場合に眼の移植拒絶を低減または予防するのに有効である、請求項 1 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 9】 眼における移植手順を受けたまたは受けている個体の眼の硝子体腔に移植された場合に眼の移植拒絶を低減または予防するのに有効である、請求項 1 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 10】 前記薬剤が、10～90重量%の量で存在する、請求項 1 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 11】 前記薬剤が、50～80重量%の量で存在する、請求項 1 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 12】 前記生体浸食性ポリマーがポリエステルである、請求項 1 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 13】 前記生体浸食性ポリマーがポリ乳酸ポリグルコール酸 (PLGA) 共重合体である、請求項 1 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 14】 眼における移植手順を受けたまたは受けている個体の眼に放出された場合に眼の移植拒絶を低減または予防するのに有効であるデキサメタゾン、および生体浸食性ポリマーを含み、放出モジュレーターは含まない、眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 15】 眼における移植手順を受けたまたは受けている個体の眼に移植された場合、眼の移植拒絶を低減または予防するのに有効な量で少なくとも3週間にわたって、デキサメタゾンを放出するのに有効である、請求項 14 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 16】 デキサメタゾンが、生体浸食性ポリマー中に粒子として存在する、請求項 14 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 17】 眼における移植手順を受けたまたは受けている個体の眼の前眼房に移植された場合に眼の移植拒絶を低減または予防するのに有効である、請求項 14 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 18】 眼における移植手順を受けたまたは受けている個体の眼の硝子体腔に移植された場合に眼の移植拒絶を低減または予防するのに有効である、請求項 14 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 19】 デキサメタゾンが、10～90重量%の量で存在する、請求項 14 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 20】 デキサメタゾンが、50～80重量%の量で存在する、請求項 14 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 21】 前記生体浸食性ポリマーがポリエステルである、請求項 14 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。

【請求項 22】 前記生体浸食性ポリマーがポリ乳酸ポリグルコール酸 (PLGA) 共重合体である、請求項 14 に記載の眼用生体侵食性薬物伝達システム。